

図書館だより



図書館だより 2022 第 2 号
2022 年 8 月 22 日発行
名寄市立大学図書館運営委員会
名寄市立大学図書館
〒096-8641
名寄市西 4 条北 8 丁目 1 番地

ビブリオバトル 2022 in 名大祭

7月16日(土)に、第9回となる「ビブリオバトル2022 in 名大祭」を開催しました。

感染防止の観点より、対面での観戦は学内者のみの予約制となりましたが、YouTube Live によるオンライン配信も並行しての実施となりました。当日は栄養学科助教 泉史郎先生・教養教育部教授 小古間甚一先生によるデモンストレーションの後、本戦を開始。今回は3名のバトルが本への思いを熱く語ってくれました。

栄養学科4年 細谷 美樹 さん

『ステップファザー・ステップ 屋根から落ちてきたお父さん』

宮部みゆき作、千野えなが絵、講談社

細谷さんから
ひとこと

泥棒の「俺」が屋根から落ちて脅され、双子のお父さんの代わりに！？
泥棒の「俺」と息ぴったりの双子との会話が面白い、
ハートフルホームコメディかつユーモアミステリー作品です。
ぜひ読んでみてください！



栄養学科4年 増田 わかな さん

『麦本三步の好きなもの 第二集』住野よる著、幻冬舎

増田さんから
ひとこと

麦本三步は図書館に勤める20代女子。三步の日常は少し違う。
きっとあなたが三步と同じことをして過ごしていても、
三步の感じ方を知ったら発見がたくさんあるはずですよ。
そんな「あいかわらずだけどちょっと新しい」日常が描かれています。

看護学科2年 鶴田 真生 さん

『妖怪アパートの幽雅な日常』香月日輪著、講談社

鶴田さんから
ひとこと

ひよんなことからオバケが出ると噂の「寿荘」に下宿することになった主人公、
稲葉夕士を迎えたのはオバケよりも個性的でとんでもない人間や幽霊の住人たち！
様々な出来事を経て成長する夕士を通して、広い世界や色々な価値観に出会える
作品です！



名寄市立大学図書館

投票の結果、チャンプ本は鶴田さんが紹介した『妖怪アパートの幽雅な日常』に決定。副賞として図書カード5,000円分が小古間甚一先生より贈呈されました。惜しくも優勝を逃した細谷さん、増田さんには参加賞として図書カード2,000円分が贈呈されました。

また、在学4年間、毎年図書館のイベントに参加いただいた細谷さんと増田さんに、特別賞として堀川館長のサイン&細谷さん・増田さんの似顔絵(堀川館長直筆)入りの本『北の川をめぐる九つの物語』(加藤太一 著、堀川真 画、北海道新聞社)が贈呈されました。

なお、今回バトルの皆さんが紹介された本は、後日図書館で展示予定です。バトル「イチ押し」の本の魅力に是非触れてみてください。

展示のお知らせ

9月3日(土)まで、図書館の2階・特設ギャラリーにて「ぼくたちのコンニャク先生」星川ひろ子写真絵本原画展を開催しています。

脳性まひの保育園の先生、近藤先生と子どもたちとのあたたかな交流を描き、日本絵本大賞やけんぶち絵本の里大賞に輝いた名作写真絵本です。
この機会にどうぞお越しください。

展示期間：7月20日(水)～9月3日(土) 休館日：日・祝

展示会場：名寄市立大学図書館 2階・特設ギャラリー

開館時間：午前9時～午後9時

観覧の場合は閉館30分前までにお越しください。



推薦図書コーナー

今回は、泉先生と小古間先生より、ビブリオバトルのデモンストレーションにて取上げられた本を紹介いただきました。コメント文だけでは伝わりきらない当日の様子は、学内者限定となりますが、大学祭配信URLからアーカイブの視聴が可能ですので、当日参加できなかった方も是非ご覧ください。

『世界で一番美しい病気』中島らも著、角川春樹事務所

恋愛、それはしたくてするものでなく熱病にうなされるようなものだという、
中島らも氏が紡ぎ出す短い文章の中に光る洗練された言葉は、読む人の
心を揺さぶるものがあります。

特に「サヨナラにサヨナラ」の件がおすすめです。

(栄養学科助教 泉史郎)



<図書館2階開架に所蔵があります 請求記号：B914.6/N>

『君ならわかる哲学』古牧徳生著、春秋社

哲学の本は難しいから敬遠している。そう思っている人はぜひこの本を一読することをお薦めする。著者は本学教養教育部の古牧徳生教授。古代ギリシャから19世紀後半までの哲学を、原典を参照しながら、わかりやすく解説してくれる。その軽妙な語り口はまるで授業を聴いているようだ。

この本を読んで、哲学の面白さに触れてほしい。

(教養教育部教授 小古間甚一)



<図書館2階開架に所蔵があります 請求記号：130.2/F>